

写真-20はスマートフォンを利用した工事車両の運行管理システム「Vas Map」です。事前に設定した運行ルートや危険箇所を各車両に設置したスマートフォンより音声ガイダンスにて運転手に周知してくれます。また事務所のモニターにて各車両の速度やGPSでのリアルタイムな位置情報を把握する事ができ、これまで確認しづらかった現場外での運行状況を確認する事ができます。毎日の作業終了時には運行日報を自動で作成してくれ書類作成時間を省力する事ができます。



写真-20 工事車両運行管理システム【Vas Map】

写真-21は、3D-CADで作成した3Dモデルは通常であれば推奨スペックを搭載したパソコンが必要ですが、「Sketchfab」(スケッチファブ)にアップロードする事によりi-Padやスマートフォンでダウンロードして簡易に閲覧する事ができます。それにより現場や地元説明資料として3Dモデルを簡易に取扱う事ができます。

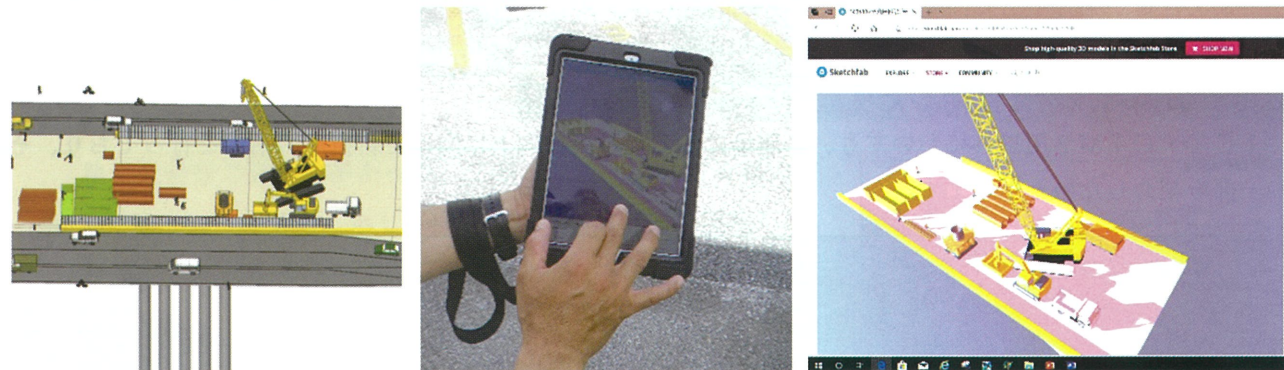


写真-21 3Dモデルの活用方法「Sketchfab」(スケッチファブ)

4. おわりに

建設業では今後10年で約100万人減少するという予想が出ているなか若者への人気は衰退する一方です。その理由として3K、休日が少ない、低所得などのマイナスイメージが非常に根強いのではないのでしょうか。私はよく周りの技術者や作業員の方々に一つの質問をします。「将来自分の子供達に建設業を就職先に推薦しますか?」答えはほぼ「No」です。その要因としては地場の建設企業で働く人達がまだまだ3K、休日が少ない、低所得を実感しているのではないのでしょうか。

当社ではi-Constructionの導入により生産性向上を目指すと同時に働き方改革に取り組むことで、少しでもこの建設業界に根付く負のイメージを払拭していきたいと考えています。

将来建設業に従事するすべての人達が子供達に胸を張ってこの業界を推薦できる環境作りに邁進していきたいと思っています。